

河村産業の取り組み紹介

2025年3月4日

河村香保里



河村産業株式会社
Kawamura Sangyo Co., Ltd.

1. 会社概要

会社名 河村産業株式会社

設立日 1967年12月2日

従業員数 260名(2024年4月1日現在)

本社所在地 三重県四日市市西大鐘町330

人と技術と幸せな未来へ

People, Technology and Future

社是を元に作られたこのスローガンには、
お互いに意見を交わし、受け入れることで、技術を高め合い、創造し続ける。
そんなモノづくりの基本を通じて、社業の発展をはかり人々の幸せに
貢献し続けていこうという意味が込められています。



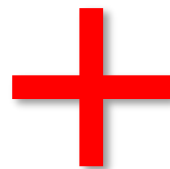
2. カーボンニュートラルに取り組んだきっかけ①

2050年までに
カーボンニュートラル？

どうすればいいの？



3. カーボンニュートラルに取り組んだきっかけ②



省エネ
お助け隊



河村産業株式会社
Kawamura Sangyo Co., Ltd.

4. 取り組み内容と課題（脱炭素経営支援事業）

- ・ 経理課の**協力**がなければ出来ない…
- ・ 毎月の**データ**の**積み重ね**が**必要**…
- ・ カーボンニュートラル実現には**お金がかかる**…



5. 取り組みの成果（脱炭素経営支援事業）①

Scope1とScope2の算定方法が 確立出来た



自社のCO2排出量が数字で見えると
どれだけ減らさなければならぬか
目標が立てやすい



6. 取り組みの成果（脱炭素経営支援事業）②

中小企業版SBTを取得(2022年3月)
し2030年までに42%削減を目指す
(SBT1.5℃水準)



取引先から来る環境への取り組みに関する
調査にスムーズに回答出来るようになった



7. 取り組みの内容（省エネお助け隊）

－省エネお助け隊の流れ－

省エネ診断を受け、どのような
支援が行えるか判断してもらう



伴走支援を受けながら省エネに取り組む



省エネ
お助け隊



8. 取り組みの成果（省エネお助け隊）

コンプレッサの昼夜圧力設定値変更

省エネ診断後の伴走支援で実施した計測によると、昼間と比べて夜間は必要空気量が20%に低下しており、工場内の空気需要が小さいことが判明した。そのため夜間、圧縮機の吐出圧力設定値を下げることを提案した。

曜日、時間帯		現状				運用案
		運用機	実負荷(kW)	負荷率(%)	圧力設定値(MPa)	圧力設定値(MPa) 変更提案
平日 昼間	8:00~19:00	小1台 大1台 計 65.2kW	30~40kW 風量ピーク 6.8m³/min	61%	0.627	0.627
平日 夜間	19:00~翌8:00	大1台 41.1 kW	7kW 1.2m³/min	17%		0.05~0.06
休日 (土、日祝)	土 8:00~23:00	41.1 kW	9kW(8~12)	22%		0.05~0.06
	土 23:00~日 8:00	24.1 kW	8kW	33%		
	日 8:00~日 17:00	41.1 kW	9kW(8~12)	22%		
	日 17:00~月 8:00	24.1 kW	7kW	29%		

削減効果

エネルギー削減量（原油換算値）：0.27kl/年
エネルギーコスト削減額：2.3万円/年

コンプレッサのエア漏れ対策・運転台数適正化

エア漏れ対策を実施したことにより、前年実績との比較で20%前後の効果が確認できた。また、計測結果から、現状4台稼働しているコンプレッサ運転台数の削減余地があることが判明し、適正な運転台数をでの稼働を提案した。

コンプレッサの適正台数提案

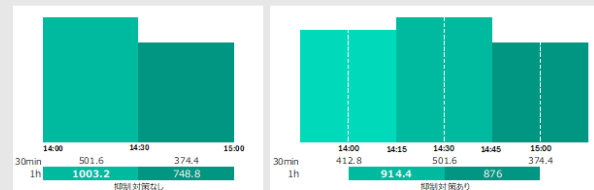
	従来	提案
平日昼間の運用	大(1台)+小(1台)	大(1台)
平日夜、休日の運用	大(1台)	小(1台)

削減効果

エネルギー削減量（原油換算値）：7.04kl/年
エネルギーコスト削減額：87.3万円/年

電力ピークの抑制対策

電力負荷を分析し、大型プレス機が要因となっており、稼働時刻を15分ずらすことで、電力ピークの抑制になることが判明した。契約電力を下げることを提案した。

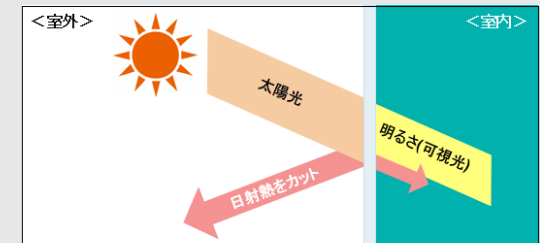


削減効果

エネルギーコスト削減額：145万円/年

壁面ガラスへの日射調整フィルムの貼付

日射を取り入れている壁面のガラスに日射を遮る日射調整フィルムを貼付し空調エネルギーの低減を図ることを提案した。



削減効果

エネルギー削減量（原油換算値）：1.13kl/年
エネルギーコスト削減額：9.6万円/年

9. まとめ①

カーボンニュートラルの情報を
収集し、経営層に届けることが必要



10. まとめ②

カーボンニュートラルの取り組みを
継続し準備を行っておくことが大切



ご清聴ありがとうございました